

～リハビリ通信～



現在、『小グループでの外出プログラム』に取り組んでいます。2月と3月は公共交通機関を利用して、近隣のショッピングモールに行きました。久しぶりに外出をされる方も多く、「楽しかった」、「また、行きたい」、「違う場所にも行ってみたい」、「衣類や日用品の値段が安くてびっくりした」などの感想が聞かれました。

『外出』という身近な社会参加を通じて、地域の様々な情報を得ることが出来るため、最近では参加メンバーの会話の中で「地域に関する話題」も増えてきました。今後が楽しみなプログラムとなっています。



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 704

TEL:0493-56-3191 / FAX:0493-56-4831

昭友会ホームページ: <http://www.kokoro.or.jp>

もりのたより



診療報酬改定を受けて

平成24年度診療報酬改定は、平成23年6月政府・与党社会保障改革検討本部『社会保障・税一体改革成案』で示した2025年の医療・介護機能強化のイメージに向けて、あるべき医療の実現の第一歩の改定と位置付けられています。2025年の医療・介護機能強化のイメージとは、医療機関の機能の明確化と連携の強化、医療機関と在宅・介護施設との連携強化、医療提供体制の効率化等が挙げられます。

今回の改定は、その第一歩として、2つの重点課題を掲げています。1つは急性期医療における病院勤務医及び医療従事者の負担軽減です。これは急性期医療がより効果的に機能を果たすためそれに係る人的体制の補完を目的とします。2つめは、医療・介護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化及び在宅医療等の充実です。医療機関等の連携による緊急往診や看取り、歯科訪問診療・訪問看護等が挙げられます。その他には、がん医療・精神科疾患・認知症対策、医療安全対策や最新医療を遅滞なく国民皆が受けられるよう医療技術の進歩の促進と導入を掲げています。

精神科領域では、平成16年に提唱された「精神保健医療福祉改革ビジョン」以来、社会復帰の推進と在宅医療の充実に向けた一連の取り組みが求められてまいりました。また、平成23年7月に社会保障審議会・医療部会において、医療計画に定める「4疾病5事業」に新たに精神科疾患を加えた「5疾病5事業」とする方針が決定されました。今回の診療報酬改定では、各医療機関の機能分化や連携の強化と在宅医療の充実をより明確に謳った改定がなされました。

当院では、近隣市町村役場関係をはじめ地域の医療機関・介護施設と連携を図りながら、精神科疾患の患者様の受け入れや社会復帰支援、認知症を含む高齢者の精神科疾患への取り組みを中心に活動してまいりました。今回の改定を踏まえ、関係先とのより一層の連携を深め、培ってきた機能や医療技術を強化しつつ、将来に向けた取り組みを視野に入れ、地域の皆様に愛され必要とされる医療機関を目指してまいります。

埼玉森林病院 事務長 井田保則

お知らせ



○診療報酬の改定

本年4月1日に診療報酬が改定されました。診療行為や処方内容が同じでも3月までと4月からでは点数が増減することがあります。また、新設された項目もあります。ご不明な点は、医事課までお問い合わせください。

○春からの行事予定

- 5月 ソフトボール大会／ボランティアコンサート
- 6月 夏祭り
- 衣料品販売
- 自衛消防訓練



マガジンラック

○マガジンラックの設置

当院新館にマガジンラックを新たに設置しました。どうぞご利用ください。

うきうき編集後記

桜が咲き始める時期になりました。入学式や新入職など新しい事が始まるドキドキした時期だと思います。申し遅れましたが、今回から広報委員に任命された看護師の柳です。広報誌を作るのは初めてで緊張感を持っていますが、何事にも新しい気持ちを持って取り組んでいきたいと思っています。

これからもどうぞよろしくお願ひします。

看護師 柳 弘一

家族懇談会

第11回家族懇談会を平成24年3月10日に開催致しました。悪天候の中ではありますが、22名のご家族に参加をしていただきました。

今回の講演では、院内の取り組みに焦点を当て、作業療法士より話をさせて頂きました。会場には活動の中で作られた作品の数々や、活動風景の展示もあり、患者様が日々取り組まれている活動がどのようなものか、イメージを持っていただくことができたのではないのでしょうか。

普段ご家族同士の交流がない中で、それぞれの思いや悩みなどを語り合う場は大変貴重であると思っております。今後の家族懇談会の在り方についても工夫をこらし、ご家族の方に活用いただける場の提供ができればと考えております。

これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

第11回家族懇談会担当
地域医療連携室 入江 翠



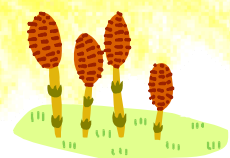
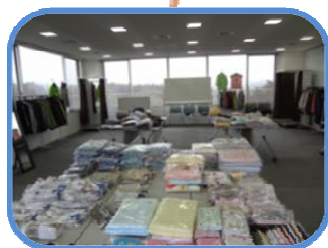
つながるうSAITAMAフォーラム「ひとりぼっちを防ぐために」

平成24年3月3日(土)に熊谷市立文化センターで、『ひとりぼっちを防ぐために』と題して、精神障がいを抱える当事者のフォーラムが開催され、当院からも社会復帰に向けたリハビリテーションの一環として、4名の患者様が参加しました。内容は、「人生、ここにあり!」の映画上映や精神科医のきたやまおさむ氏による講演会、また、パネルディスカッションでは埼玉県のある当事者団体の各代表者がパネリストとして参加し、自身が病気と向き合ってきた様子を話されていました。

参加した患者様からは、「体験談を聞いて感動した」、「安心していられる場所があることが分かった」などの感想を聴くことが出来ました。地域で生活する当事者からのメッセージを聞いて勇気や希望を得る機会となりました。

衣料品販売

入院患者様を対象に開催しております。ショッピングを楽しんで頂くよう回を重ねるごとに、より充実した商品や会場のレイアウトを工夫しています。次回の開催は、平成24年6月4日(月)で夏物の販売を予定しています。



新入職医師紹介!!

森村 健一 医師 (平成24年1月1日入職)

このたび縁あって当院内科に勤務することになりました。以前より地域の内科診療に携わっており専門は一般内科、消化器系疾患です。今後ともよろしくお願いいたします。

緒方 龍 医師 (平成24年4月1日入職)

このたび内科医として老年期病棟で一般内科を担当することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。



日本精神科看護技術協会での学会発表について

平成24年6月1日(金)・2日(土)・3日(日)

日本精神科看護技術協会主催による第37回日本精神科看護学術集会が開催され、当院は同協会埼玉県支部から2演題が推薦され発表することになりました。

- 演題 1. 「慢性期病棟における口腔ケアアプローチ」
- 2. 「車椅子用安全ベルトに対する意識改革を試みて」

院内研修

院内感染対策

平成24年1月18日(水)

入院患者様の安全を第一に考え、職員一人ひとりが感染に対する最新の知識を学ぶため、計画的に研修を行い予防に努めています。

精神保健福祉法

平成24年2月15日(水)、22日(木)、29日(水)

精神科医療では、精神保健福祉法に基づき、やむを得ず行動制限を行なう事があります。私たちは、法規を正しく理解して患者様の人権を尊重し、安全を守り、専門職としての責任を果たす為、定期的にこの法規について再確認する機会を作っています。



2月・3月の行事食



2月のメニュー

- ・のりまき・稲荷寿司
- ・鶏肉のねぎ炒め
- ・ほうれん草の胡麻和え
- ・煮物
- ・つみれ汁



3月のメニュー

- ・ちらし寿司
- ・お刺身(鯛と鮪)
- ・煮物
- ・お吸い物
- ・デザート
(プリンアラモード)

